

未病・防災～高齢者比率約4割の町で高校生が挑む少子高齢化

～山北町の少子高齢化に対する危機意識と山北高校が地域から愛され、求められてきた歴史をもとに、高校と町が県西地域発展の課題に挑む～

< 目 標 >

- I 山北高等学校を中心に、行政・町民・企業が一体化の推進
- II 『未病』、『地域防災』の二つの視点で、PBLを活用した『個人の成長』を求めるカリキュラムの開発研究
- III Uターンを含めた地域で活躍し、地域を創生する人材の育成

< 体制 >

- 山北町と県教育委員会の協定
- 学校と地域を結ぶコーディネーター
- 自治会関係者との協働
- 県政策局未来創生課との連携
- 大学との連携
- 地域の企業・商工会との協働

< 取組状況 >

- I 町をはじめ、町民、企業、NPO、町議会など各団体の参加を得られるカリキュラムを構築している。
- II 学校設定科目「未病」「地域防災」において、地域の情報収集、整理・分析作業を行い、探究的な学びを通じて、思考力、判断力、表現力の向上を図っている。
- III 町やNPO、協議会の協力により、フィールドワークやマイプロジェクトを通じて、生徒が地域課題を自分事として捉えるようになっていく。

< 成 果 >

- ◇積極性と身の周りの課題発見能力の向上
- ◇課題解決に向けたコミュニケーション力やプレゼンテーションスキルの獲得
- ◇多角的な視点の獲得と思考力・判断力・表現力の向上
- ◇地域理解の深まりと自分事としての課題認識の深まり
- ◇地域課題解決に向けた提案、発表
- ◇探究学習を核とした教科横断的な学習への転換と推進する組織の構築
- ◇生徒の学習事項を山北町に提言した

< 課 題 >

- ◆コンソーシアムの組織的な活用と発展及び地域協働学習支援員との協働体制の推進
- ◆教員のファシリテート力の向上